

協会けんぽ鳥取支部長コメント

八頭町民、八頭町内事業主・加入者の皆様へ

この度、協会けんぽ鳥取支部は八頭町と「八頭町の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結しました。

現在の健康保険の運営は、中小事業所などの職域を協会けんぽが、地域は各市町村が行っていますが、協会けんぽの加入者は各市町村にお住まいです。つまり、職域と地域の健康づくり対策に取り組むためには、地域＝市町村との協力・連携が必要不可欠として、現在、全市町村へ連携を働きかけさせていただいており、この度の八頭町との協定は、琴浦町、智頭町に次いで三番目となります。

鳥取支部では八頭町との協力・連携のもとで次の三つの事業を柱として取り組むことを考えております。

1. 特定健診及びがん検診受診率向上への取り組み

増え続けるがんや糖尿病などの生活習慣病を減らすための健(検)診受診率の向上は健康づくりの第一歩ですが、協会けんぽ・八頭町とも目標に達していません。この課題を改善するため、既に琴浦町と智頭町で実施している健(検)診の共同実施や共同広報などを通して受診率の向上を図ります。

2. 八頭町全体の健康状態を把握し、健康課題への対策の実施

協会けんぽと国保の加入者で町民の約6割、後期高齢者医療を加えると町民の約7割の医療費や健診結果が集まることとなり、これらのデータを共有することで、より正確な八頭町の健康課題を把握することができます。当支部では、データの分析や健康増進策を進めるため、健康づくりに関わる県・労働局・鳥取大学医学部とのネットワークづくりを積極的に進めてきました。これらの関係機関との連携もあわせて、八頭町の健康課題への取り組みを進めていきます。

3. 事業ノウハウなど情報共有の推進

鳥取支部では、県内の全市町村に対して、連携して健康づくりに取り組みたいと働きかけています。これまで、それぞれが取り組んできた健康づくり事業ですが、他市町村や、昨年12月協定を締結した鳥取県国民健康保険団体連合会など関係機関と連携、情報共有を進めることで、効果的な健康づくり事業を展開していきます。

この度の、八頭町との連携が、地域、職域、そして鳥取県全体の健康づくりの取り組み強化につながるようまい進する所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。



支部長 石本 健一

